

1 学校教育目標

- ① 自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力を伸ばします。〔知〕
- ② 自他の生命を尊重し、心身の健康を維持・向上していく力を伸ばします。〔徳・体〕
- ③ 共に認め合い、参画し、自他および社会を高めていく力を伸ばします。〔公・開〕

2 教科の目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

3 学習する内容

A 主として自分自身に関わること	B 主として人との関わりに関すること	C 主として集団や社会との関わりに関すること	D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
<p>自己のあり方を自分自身との関わりで捉え、望ましい自己の形成を図ることに关するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主、自律、自由と責任 ・ 節度、節制 ・ 向上心、個性の伸長 ・ 希望と勇氣、克己と強い意志 ・ 真理の探究、創造 	<p>自己を人との関わりで捉え、望ましい人間関係の構築を図ることに关するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 思いやり、感謝 ・ 礼儀 ・ 友情、信頼 ・ 相互理解、寛容 	<p>自己を様々な社会集団との関わりで捉え、国際社会と向き合う日本人としての自覚に立ち、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な道徳性を養うことに关するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遵法精神、公德心 ・ 公正、公平、社会主義 ・ 社会参画、公共の精神 ・ 勤勞・家族愛 ・ よりよい学校生活 ・ 伝統と文化の尊重 ・ 国際理解、国際貢献 	<p>自己を生命や自然、美しいもの、気高いもの、崇高なものとの関わりで捉え、人間としての自覚を深めることに关するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生命の尊さ ・ 自然愛護 ・ 感動・畏敬の念 ・ よりよく生きる喜び

4 評価について

(1) 評価の観点（視点）

- ◇多面的・多角的な見方へと広げているか。
- ◇道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか。

(2) 評価の仕方

数値による評価ではなく、記述として評価します。

(ア) 学習状況や道徳性に係る成長の様子を評価

学習活動において生徒がより多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか、生徒の具体的な取組状況を一定のまとまりの中で、見取ります。

(イ) 個人内評価

他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価で行います。

(ウ) 大きくりのまとまりを踏まえた評価

学期や学年を通して長い期間で評価を積み重ねます。そのため、個々の内容項目ごとではなく、大きくりのまとまりを踏まえた評価となります。